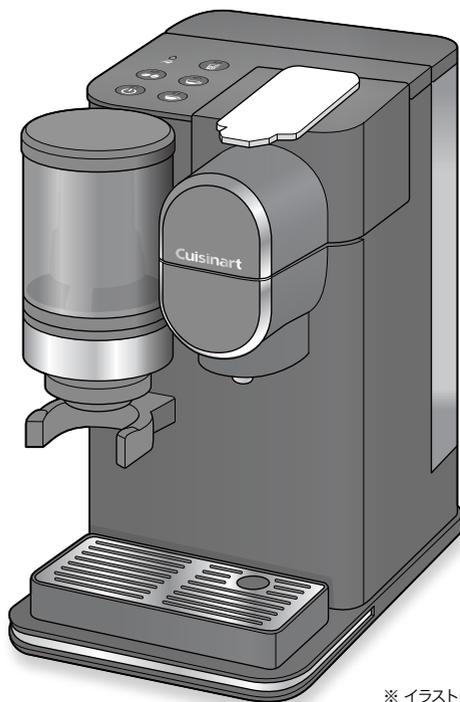


Cuisinart®

家庭用

ドリップワン ミル付コーヒーマーカー
(DGB-2KJ)

取扱説明書



※ イラストはイメージです

保証書付

- このたびはクイジナート ドリップワン ミル付コーヒーマーカーをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになった後は本機のものなど、いつもお手元においてご使用ください。
- この取扱説明書は裏表紙に保証書が付いています。必ずお買い上げ日、お客様名、販売店名などの記入をお確かめのうえ、販売店からお受け取りください。
- 本取扱説明書の記載内容は、改良のため予告なく変更する場合があります。
- 本製品は日本国内専用に設計されていますので、国外での使用はできません。
FOR USE IN JAPAN ONLY.

もくじ

安全上のご注意	1 ~ 3	お手入れ	11 ~ 12
各部のなまえ	4 ~ 5	故障かなと思ったら	13
ご使用になる前に	6 ~ 7	部品購入について	13
コーヒを淹れる		保証とアフターサービス	14
～コーヒ豆を挽いて淹れる～	8 ~ 9	仕様	裏表紙
コーヒを淹れる			
～コーヒ粉から淹れる～	10		

安全上のご注意 **必ずお守りください**

- ご使用になる前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 表示と意味は次のようになっています。

 警告 誤った取り扱いをすると、人が死亡 または重傷などを負う可能性が想定 される内容を示します。
 注意 誤った取り扱いをすると、人が傷害 を負ったり、物的損害*の発生が想定 される内容を示します。

本文中の絵表示の意味	
	注意（警告を含む）を示します。
	してはいけない「禁止」の内容です。
	実行しなければならない「強制」の内容です。

* 物的損害とは、家屋、家財および家畜、ペットにかかわる拡大損害を示します。

警告



絶対に分解・修理・改造は行わない。
発火したり、異常作動をしてけがを
する恐れがあります。



**本体を水につけたり、水をかけ
たりしない。**
ショート・感電の恐れがあります。



**ぬれた手で、電源プラグの抜き
差しはしない。**
感電の恐れがあります。

安全上のご注意

必ずお守りください

⚠ 警告



電源コード・電源プラグを破損するようにはしない。

傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない。傷んだまま使うと、感電・ショート・火災の原因になります。

電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。

感電・ショート・火災の原因になります。



蒸気が出るところに触ったり、顔などを近づけない。

特に乳幼児には触らせないようにご注意ください。



ウォータータンクが目盛「MAX FILL」(1.4L) 以上の水は入れない。

水がこぼれたり、やけどや事故の原因になります。



子どもなど取り扱いに不慣れな方だけに使わせたり、乳幼児の手の届くところで使ったり、置いたりしない。 やけど・感電・けがの原因になります。

交流100V電源以外では使用しない。 火災・感電の原因になります。



15A以上のコンセントを単独で使用する。

他の器具と併用した分岐コンセントは異常発熱して発火することがあります。

電源プラグのほこりなどは定期的に取る。

プラグのほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。

● プラグを抜き、乾いた布で拭いてください。



コーヒー豆を挽いているときや抽出中は、絶対にミルユニットや抽出ヘッドを開けない。

コーヒー豆やコーヒー粉、熱湯が出てきます。

⚠ 注意



ミルユニットに手を入れない。

ミルユニットの刃でけがをすることがあります。



ミルユニットの刃に直接手を触れない。

粉を落とすときはミルユニットの刃に直接手を触れないように注意してください。



ミルユニットは回転が止まってから外し、お手入れするときは電源プラグを抜く。



ドリッププレートにカップを置いたまま本体を運ばない。

落下により損傷したり、コーヒーがこぼれます。

抽出中にカップを動かさない。

コーヒーがこぼれます。

ウォータータンクの中には水以外のものを入れない。

熱湯、牛乳、酒、コーヒーなど水以外のものは入れないでください。故障の原因になります。

安全上のご注意

必ずお守りください

⚠ 注意



不安定な場所や熱に弱い敷物の上で使わない。

火災の原因になります。

壁や家具の近くで使わない。

蒸気や熱で家具や壁を傷め、変色・変形の原因になります。

火気の近くでは使わない。

熱によって変形し、故障の原因になります。



電源プラグを抜くときは、コードを持たずに、必ず先端の電源プラグを持って引き抜く。

感電やショートして発火することがあります。



お手入れは必ず電源プラグを抜き、本体が冷めてから行う。

感電ややけどをすることがあります。

● 持ち運びや取り外しも本体が冷えてから行ってください。

使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜いておく。

けがややけど、絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。



抽出量ボタンを押すときは、必ずフィルターカップをセットして、抽出ヘッドを閉じる。

正しくセットせずに抽出量ボタンを押すと、挽いたコーヒー粉や熱湯が出て、やけどやけがの恐れ、故障の原因になります。



続けて使用するときには、本体およびフィルターカップが熱くなっているため、気をつけて取り扱う。

やけどの恐れがあります。

抽出後、そのまま放置しておかない。

フィルターの目詰まり、故障や変色・においの原因になります。

● コーヒーは時間の経過とともに酸化し風味を損ないます。早めにお召し上がりください。



本体が冷めるまで移動は行わない。

本体の移動は、本体が十分に冷めた状態で電源プラグを抜き、ウォータータンクの水を捨ててから行ってください。やけど、けが、感電や故障の原因になります。

知っておいていただきたいこと

■ ウォータータンク内の水滴、水滴跡に関して

本製品は、厳重な品質管理のもとに出荷しております。このため出荷検査時に使用した水が水滴となってタンク内に残っていたり、水滴が乾燥して白い跡になって残っている場合があります。

お使いになる前には取扱説明書6ページの「ご使用になる前に」の内容に従い、2～3回、湯通しして、内部を洗浄してからご使用ください。

■ においについて ※ 樹脂などのおいがある。

使いはじめのうちは樹脂などのおいがあることがありますが、ご使用とともに少なくなります。

■ ミネラルウォーターやアルカリイオン水を使用した場合

本体内部にカルシウム分が付着しやすくなります。

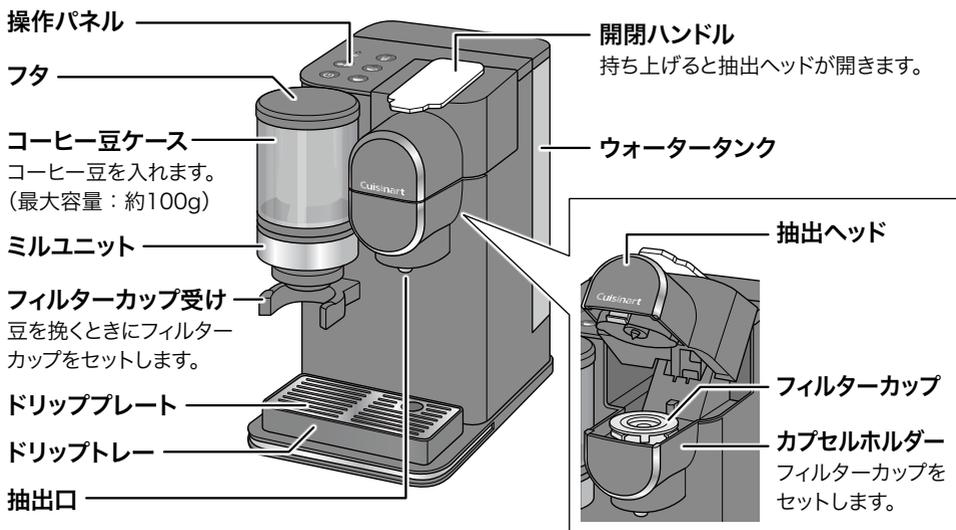
12ページの「本体内部の洗浄」を参照し、こまめにお手入れすることを心がけてください。

■ コーヒーの抽出中は近くに物をおかないようにご注意ください。

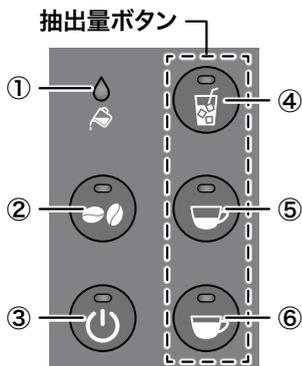
コーヒーがはねたり、泡などが飛び散ることがあります。

各部のなまえ

本体



■ 操作パネル



①	給水ランプ	水量が少なくなると、赤色に点灯します。
②	ミルボタン	コーヒー豆を挽きます。 挽く量の目安 ● 短押し：約9g [※] ● 長押し：約11g [※] (ミルが作動し始めるまで約2秒間 ほどボタンを押し続けてください)
③	電源ボタン	電源をオン/オフします。
④	抽出量 ボタン	アイス用ボタン 約90ml抽出します。 アイスコーヒー、カフェオレにおすす めです。
⑤		Sサイズ用ボタン 約140ml抽出します。
⑥		Mサイズ用ボタン 約180ml抽出します。

※ コーヒー粉の量は、コーヒー豆の種類やローストの具合により異なります。

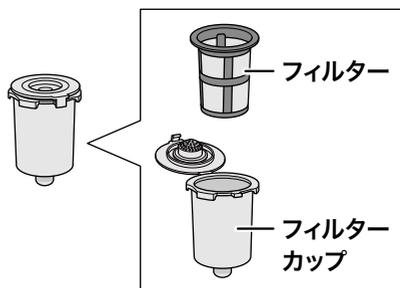
- 操作しないまま約10分が経過すると、自動で電源がオフになります。

各部のなまえ (続き)

付属品

■ フィルターカップ

挽いたコーヒー豆、お好みのコーヒー粉を入れます。

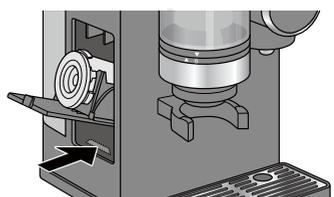


フィルターカップ収納部

フィルターカップを保管できます。

収納部の扉の下部を押すと、収納部が開きます。

- フィルターカップは十分に乾かしてから入れてください。
かびの原因になります。

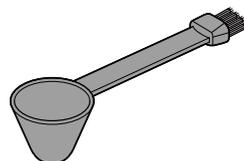


■ 計量スプーン・クリーニングブラシ

1杯で約5g程度です。

また、ブラシ部分を使用してお手入れすることができます。

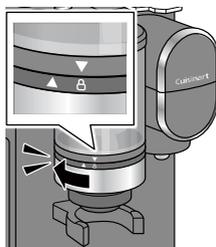
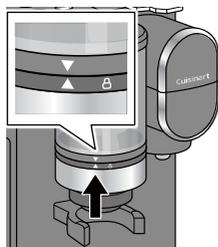
- ※ コーヒー豆の種類、焙煎度合い、挽き目など粉の状態によって1杯の重さは異なります。



ミルクユニットの取り付け・取り外し

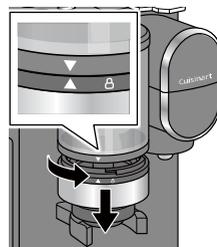
■ 取り付け方法

- ① コーヒー豆ケースとミルクユニットの▲同士を合わせて取り付けます。
- ② ミルクユニットを時計回りに回し、🔒 をコーヒー豆ケースの▼に合わせて固定します。



■ 取り外し方法

ミルクユニットを反時計回りに回して、▲同士を合わせてから引き抜きます。



注意

コーヒー豆ケースにコーヒー豆が入っているときは、絶対にミルクユニットを取り外さないでください。
外すと中のコーヒー豆がこぼれ落ちます。

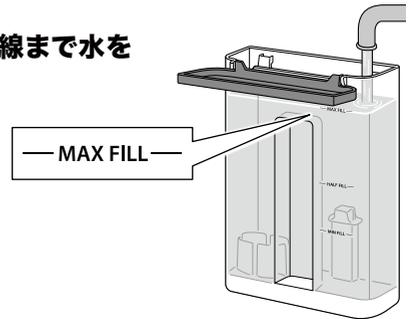
ご使用になる前に

内部洗浄（湯通し）の手順

- 1** ウォータータンク・フィルターカップ・フィルターを取り外して水洗いします。
洗浄後は水気を拭き取って乾かします。

注意 本体・ミルユニットの水洗いはできません。

- 2** ウォータータンクの「MAX FILL」の線まで水を入れて、本体に取り付けます。



- 3** ドリッププレートにマグカップなどの耐熱性容器を置きます。

ドリフトレー・ドリフトプレートが本体にセットされていることを確認してから、容器を置いてください。

※ 容器は200ml以上の大きめのものをご使用ください。

- 4** 電源プラグをコンセントに差し込み、電源ボタンを押します。

電源ボタン・ミルボタン・抽出量ボタンのランプが点灯します。抽出量ボタンのランプが点灯しない場合は、開閉ハンドルを持ち上げて、抽出ヘッドを開け閉めしてください。

- 5** 開閉ハンドルを持ち上げて、抽出ヘッドを開けます。

抽出量ボタンのランプが点滅します。

- 6** カプセルホルダーにフィルターカップをセットします。

湯通しでは、コーヒー粉を使用しません。

- 7** 抽出ヘッドを閉じます。

抽出量ボタンのランプが点灯に切り替わります。

● 抽出ヘッドをしっかりと閉じていないと動作しません。

ご使用になる前に (続き)

8 M サイズ用ボタンを押します。

Mサイズ用ボタンのランプが点滅し、抽出口からお湯が出ます (湯通しされます)。湯通しが終わると、Mサイズ用ボタンのランプは消灯します。

9 容器にたまったお湯を捨てます。

続けてお湯を出すために、開閉ハンドルを持ち上げて、抽出ヘッドを開け閉めします。

10 8 ~ 9 を2、3回繰り返します。



注意

- 必ずフィルターカップをセットして、抽出ヘッドを閉じてから、Mサイズ用ボタンを押してください。
正しくセットせずにMサイズ用ボタンを押すと、熱湯が出て、やけどをする恐れがあります。
- 内部洗浄中は絶対に抽出ヘッドを開けないでください。
熱湯が出てきます。
- 抽出直後は、本体およびフィルターカップが熱くなっているため、気をつけて取り扱ってください。
やけどの恐れがあります。

お願い

長期間ご使用にならなかったときも内部洗浄を行ってください。

コーヒーを淹れる ~コーヒー豆を挽いて淹れる~

※ コーヒー粉から淹れる場合は10ページを参照してください。

おすすめメニュー

種類	抽出量	コーヒーの濃さ	コーヒー豆を使用		コーヒー粉を使用
			ミルボタン	抽出量ボタン	粉の量の目安※1
ホットコーヒー	Sサイズ 約140ml	標準			約9g
ホットコーヒー	Mサイズ 約180ml	標準	長押し (約2秒)		約11g
ホットコーヒー	Mサイズ 約180ml	軽め			約9g
アイスコーヒー (氷で割る)	約90ml	濃い	長押し (約2秒)		約11g
カフェオレ※2 (牛乳で割る)	約90ml	濃い			約9g

※1 粉の量は好みにより調整してください。付属の計量スプーンもお使いいただけます。

※2 カフェオレをたっぷり飲みたい場合は、 長押し (約2秒) ・ Sサイズ (約140ml) で抽出し、牛乳で割ってお楽しみください。

1 ウォータータンクを取り外して「MIN FILL」の線を超えるまで水を入れ、本体に取り付けます。

※ 水の量は「MAX FILL」の線で約1.4L、「HALF FILL」の線で約700ml、「MIN FILL」の線で約370mlです。

2 ドリッププレートにカップを置きます。

ドリフトレー・ドリッププレートが本体にセットされていることを確認してから、カップを置いてください。

3 電源プラグをコンセントに差し込み、電源ボタンを押します。

電源ボタン・ミルボタン・抽出量ボタンのランプが点灯します。抽出量ボタンのランプが点灯しない場合は、開閉ハンドルを持ち上げて、抽出ヘッドを開け閉めしてください。

4 フタを開け、好みのコーヒー豆をコーヒー豆ケースに入れます。

最大容量 (MAXの線まで) : 約100g
コーヒー豆を入れたら、フタを閉じます。

5 フィルターカップを、フタを開けたままフィルターカップ受けにセットします。

※ フィルターカップにフィルターがセットされていることを確認してください。

4 のイメージ



5 のイメージ



コーヒーを淹れる ～コーヒー豆を挽いて淹れる～ (続き)

6 ミルボタンを押して、コーヒー豆を挽きます。

ミルユニットからコーヒー粉が出ます。

挽く量は自動で調整されます。ボタンの押し方によって粉の量が変わります。

● 短押し：約9g*

● 長押し：約11g*

ミルが作動し始めるまで、約2秒間ほどボタンを長押ししてください。

※ コーヒー粉の量は、コーヒー豆の種類やローストの具合により異なります。

※ ミルを途中で止めるには、再度、ミルボタンを押してください。



挽き終わると、ミルボタンのランプは点灯状態に切り替わります。

7 フィルターカップを取り外します。

コーヒー豆が挽き終わったことを確認してから取り外し、フィルターカップのフタを閉めます。

8 開閉ハンドルを持ち上げて、抽出ヘッドを開けます。

抽出量ボタンのランプが点滅します。

9 のイメージ

9 コーヒー粉の入ったフィルターカップをカプセルホルダーにセットします。



10 抽出ヘッドを閉じます。

抽出量ボタンのランプが点灯に切り替わります。

※ 抽出ヘッドをしっかりと閉じていないと動作しません。

11 抽出量ボタンを押して、S サイズ、M サイズ、アイスコーヒーを選択します。

押したボタンのランプが点滅し始め、抽出が開始されます。

● カフェオレ用のコーヒーを淹れる場合は、アイス用ボタンを選択してください。

※ 抽出を途中で止めるときは、押した抽出量ボタンを再度押してください。押した後本体内のコーヒーがすべて出るまでお待ちください。

12 抽出が終わると、抽出量ボタンのランプが消灯します。

13 電源ボタンを押して電源をオフにし、電源プラグをコンセントから抜きます。

抽出後は、各部が十分に冷めてから抽出ヘッドを開け、フィルターカップを取り出し、抽出済みのコーヒー粉を捨ててください。

やけどにご注意ください。

※ 操作しないまま約10分が経過すると、自動で電源がオフになります。

コーヒーを淹れる ～コーヒー粉から淹れる～

1 ウォータータンクを取り外して「MIN FILL」の線を超えるまで水を入れ、本体に取り付けます。

2 ドリッププレートにカップを置きます。

ドリフトレー・ドリッププレートが本体にセットされていることを確認してから、カップを置いてください。

3 電源プラグをコンセントに差し込み、電源ボタンを押します。

電源ボタン・ミルボタン・抽出量ボタンのランプが点灯します。

抽出量ボタンのランプが点灯しない場合は、開閉ハンドルを持ち上げて、抽出ヘッドを開け閉めしてください。

4 フィルターカップからフィルターを取り出し、コーヒー粉を入れます。

中細挽き～中挽きのコーヒー粉をご使用ください。

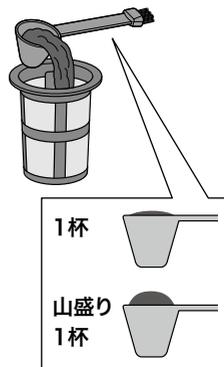
約9g：付属の計量スプーンで2杯程度^{※1}

約11g：付属の計量スプーンで山盛り2杯程度^{※1}

● コーヒー粉の量は、8ページの「おすすめメニュー」記載の粉量を目安にしてください。

※1 コーヒー豆の種類やローストの具合、挽き目など粉の状態によって1杯の重さは異なります。

粉量はお好みにより調整してください。フィルターには、最大で約15gまで入れられます。



5 フィルターをフィルターカップに入れて、9ページの**8**～**13**と同様の手順でコーヒーを抽出します。

● 抽出後は、各部が十分に冷めてから抽出ヘッドを開け、フィルターカップを取り出し、抽出済みのコーヒー粉を捨ててください。

やけどにご注意ください。

※ 操作しないまま約10分が経過すると、自動で電源がオフになります。

お手入れ



注意

- 電源プラグを抜き、各部が十分に冷めてからお手入れしてください。
- 本体とミルユニットの水洗いは絶対にしないでください。

お願い

スチールたわしやスポンジの硬いナイロン面など、研磨性の素材は使用しないでください。

本体外側

台所用中性洗剤を薄めたぬるま湯を柔らかい布に含ませ、固く絞って拭き取ります。

その後、乾いた柔らかな布で洗剤と水分を拭き取ります。

- 本体の水洗いは絶対にしないでください。

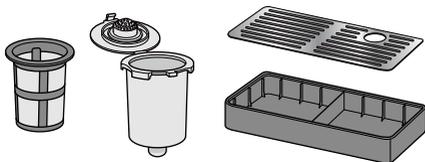


ウォータータンク、フィルター、フィルターカップ、ドリッププレート、ドリップトレイ、フタ

本体から外して、台所用洗剤とスポンジで洗います。

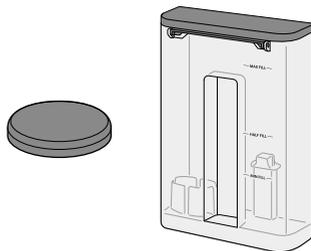
- ドリップトレイは持ち上げるだけで外れますが、残液がこぼれないよう水平にして外してください。
- フィルター・フィルターカップ・ドリッププレート・ドリップトレイは、食器洗浄乾燥機もお使いいただけます。

食器洗浄乾燥機を使用できる



- 耐熱温度は70℃です。食器洗浄乾燥機を使う場合は、食器洗浄乾燥機の取扱説明書に従い、耐熱温度に合ったコースをご利用ください。

食器洗浄乾燥機を使用できない



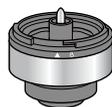
ミルユニット

※ ミルユニットの取り付け方・取り外し方は5ページをご覧ください。

本体から外して、付属のクリーニングブラシでコーヒー粉を取り除きます。

外面は固く絞ったぬれ布巾等で拭きます。

- 水洗いはしないでください。
- ミル刃の部分は手で触れないでください。



本体内部の洗浄

※ 電源オン時にすべてのボタンのランプが順番に点滅する場合、本体内部の洗浄を行ってください。

この洗浄を行うまでは、電源オン時に毎回、このお知らせランプが表示されます。

お住まいの地域の水質により、ミネラル分（カルシウム・マグネシウムなど）やカルキ成分などが製品内に付着することがあります。

抽出性能が低下しますので、3～6ヶ月ごとに本体内部の洗浄をすることをお勧めします。

ミネラル分が多く付着する場合は、除去する頻度を増やしてください。

用意するもの ・ クエン酸 小さじ3杯 ・ 容量600ml以上の耐熱性容器
・ 水 800ml （耐熱温度50℃以上）

本体内部をクエン酸水で洗浄します。

- 1 クエン酸を溶かした水を、ウォータータンクに入れます。
- 2 ドリッププレートに耐熱性容器を置きます。
- 3 電源プラグをコンセントに差し込み、電源ボタンを押して電源をオンにします。
- 4 開閉ハンドルを持ち上げて、抽出ヘッドを開けます。
- 5 カプセルホルダーに空のフィルターカップをセットします。
- 6 抽出ヘッドを閉じます。
- 7 電源ボタンとアイス用ボタンを同時に約2秒間押します。
作動すると3つの抽出用ボタンのランプが点滅します。
抽出口から温かいクエン酸水が出てきます。
※ 1回の操作で約600mlのお湯が一度に出ますのでご注意ください。
- 8 3つの抽出用ボタンのランプが消灯したら、容器にたまったクエン酸水を捨てます。

本体内部を水ですすぎます。

- 9 ウォータータンクに残ったクエン酸水をすべて捨てて、ウォータータンクを水ですすぎ、水を「MAX FILL」の線まで入れます。
- 10 ドリッププレートに耐熱性容器を置きます。
- 11 開閉ハンドルを持ち上げて、抽出ヘッドを開け閉めます。
※ フィルターカップがセットされていることをご確認ください。
- 12 電源ボタンとアイス用ボタンを同時に約2秒間押します。
作動すると3つの抽出用ボタンのランプが点滅します。
抽出口からお湯が出てきます。
※ 1回の操作で約600mlのお湯が一度に出ますのでご注意ください。
- 13 3つの抽出用ボタンのランプが消灯したら、容器にたまった水を捨てます。
※ クエン酸のにおいが気になる場合は、さらに数回繰り返してください。
- 14 ウォータータンクに残った水を捨てます。

故障かなと思ったら

次の点検をしていただき、それでもなお異常のあるときは事故防止のため使用を中止し、お買い上げの販売店、または当社修理センター（14ページ参照）にご相談ください。お客様ご自身で修理されたり、手を加えたりすることは絶対にしないでください。

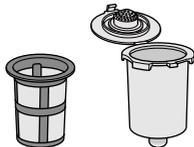
こんなとき	原因	対処方法
電源が入らない	電源プラグがコンセントに差し込まれていない	電源プラグをコンセントに差し込んでください。
コーヒーが抽出されない	水が少ない 抽出ヘッドが開いている	水を「MIN FILL」の線まで入れてください。 抽出ヘッドを最後までしっかりと閉めてください。
コーヒーの抽出量が少ない	ミネラル成分やカルキなどがたまっている	本体内部の洗浄を行ってください。（12ページ参照）
コーヒーから塩素臭やカルキ臭がする	使用している水	市販の水やろ過した水を使用してください。
ミルボタンのランプが点滅している	ミルに強い負荷がかかった	電源ボタンを押して電源をオフにし、電源プラグを抜いてください。 5秒ほど待ってから、再度、電源プラグをコンセントに差し込み、電源ボタンを押してください。
抽出量ボタンのランプが点灯しない	続けて抽出する場合は、抽出ヘッドの開け閉めをする必要がある	開閉ハンドルを持ち上げて、抽出量ヘッドを開け閉めしてください。
電源を入れるとすべてのランプが順に点滅する	ミネラル成分やカルキなどがたまっている	本体内部の洗浄を行ってください。（12ページ参照）

部品購入について

※ 部品のお取り寄せは、お買い求めの販売店または当社カスタマーサービス係へお問い合わせください。（14ページ参照）

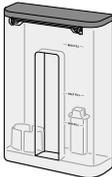
フィルターカップ

品番：DGB-2FCEU



ウォータータンク

品番：DGB-2KJWT



フタ

品番：DGB-2KJHL



ミルユニット

品番：DGB-2KJSTG



ドリフトレーセット

品番：DGB-2KJDT



保証とアフターサービス

必ずお読みください

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談はまず、お買い上げの販売店へお申し付けください。

転居や贈答品などでお困りの場合は…

- 修理は当社「修理センター」へ
- 使い方・部品・ご購入などのお問い合わせは、当社「カスタマーサービス係」へ

保証書(裏表紙をご覧ください)

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのと保管してください。

保証期間：お買い上げ日から

本体1年間 ※付属品の保証はございません。

補修用性能部品の保有期間

当社では本製品の補修用性能部品(商品の機能を維持するために必要な部品)を製造打ち切り後、最低5年間保有しています。

修理を依頼されるとき

●保証期間中は

保証書の規定に従って、お買い上げの販売店が修理受付させていただきますので、恐れ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。なお、直接当社修理センター、当社カスタマーサービス係に送付した場合の送料はお客様負担となります。確認のため、修理内容を事前に当社修理センターまでご連絡くださることをお勧めいたします。

●保証期間を過ぎているときは

ご要望により有償修理させていただきます。

ご連絡いただきたい内容	
品名	ドリップワン ミル付コーヒーメーカー
品番	DGB-2KJ
お買い上げ日	年 月 日
故障の原因	できるだけ具体的に

コンエアージャパン合同会社 お客様ご相談窓口のご案内

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は、まずお買い求めの販売店へお申し付けください。

転居や贈答品などでお困りの場合は、製品名・品番をご確認のうえ下記窓口へ

故障・修理などのご相談窓口

コンエアージャパン 修理センター



0120-137-240

受付時間：9:30～18:00

(土・日・祝祭日・年末年始などの長期連休をのぞく)

修理品のお送り先は修理センターでの受付時にご案内申し上げます。

使い方・部品・保証などの製品に関するご相談窓口

コンエアージャパン カスタマーサービス係



0120-191-270

受付時間：9:00～17:30

(土・日・祝祭日・年末年始などの長期連休をのぞく)

ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱い

コンエアージャパン合同会社およびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、個人情報を適切に管理し、修理業務などを委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

仕様

品名：ドリップワン ミル付コーヒーマーカー

品番：DGB-2KJ

電源	AC100V 50/60Hz	外形寸法 幅×奥行×高さ	約185 × 280 × 325 mm
消費電力	1,200W	質量	約3.5 kg
電源コードの長さ	約1.5 m (有効長)	最大使用水量	1.4L

ミル

消費電力	65W
最大使用容量	100g (コーヒー豆)
定格時間	11秒

コーヒーマーカー

消費電力	1,200W
最大使用容量	1.4L

- 製品のデザインは改善のため予告なく変更することがあります。
- 製品の色は印刷物に比較して実際の色と少し異なる場合があります。
- イラストは簡略して表現してあるため実際の製品と多少異なります。

愛情点検



長年ご使用のコーヒーマーカーの点検を!

こんな症状はありませんか？

- ご使用中、コード・電源プラグが異常に熱くなる。
- コードを折り曲げると通電したりしなかったりする。
- 通電中に異常な音がる。
- その他の異常・故障がある。

使用中止

電源プラグを抜き、故障や事故防止のため、販売店、または当社まで点検・修理をご相談ください。

IB-DGB2KJ-01-2405